

うたごえ新聞

5/7・14

(合併号)

(2001年)

NO. 1797

THE SINGING VOICE OF JAPAN (UTAGOE)
日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-16-36
☎03(3209)0638 FAX03(3200)0105
E-Mail = utashin@pop06.odn.ne.jp
振替口座 00120-6-5631 毎週月曜日発行

いっしょも感じる心を育てていきたい

1998年、第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門一位。その模様はテレビでも伝えられ、一躍衆目を集めた声楽家・佐藤美枝子さん。本紙では審査委員でもある声楽家・小野光子さんからお話をうかがい、コンクールの模様や審査員を魅了した佐藤さんの歌声に

ついても紹介したが、11月23日、かながわぞうれっしやネットワークの「グロリアチアにぞうを贈るためのコンサート」(横浜みなとみらいホール)にゲスト出演が決まり、あらためて登場してもらった。インタビュー、三輪純永記者。

三輪 佐藤さんのコンサートは何回も聴かせてもらっていますが、毎回、「すばらしい」の一言です。お会いしたらお聞きしたいことは一つ、「どうして一つひとつの歌があなたにドラマチックに歌え

るのでしょうか」、これに尽きるのですが、

佐藤 まず、譜読みした段階で私自身がその曲をどういうふうを感じるかが一番重要だと思っています。それを私が今持っているテクニックに乗せる。オペラリアではまず原作を読んで、登場人物の年齢、生まれ育ってきた環境を読みとり、オペラ全体の流れを把握して、登場人物の思いなどから自分の中で集約して創っていきます。あとはスコアに書かれている伴奏譜を見て、例えばフルートがどうしてこでこという音形で出てくるのかを考える。必ずその理由があるわけですから。例えば「ルチア」でし

▲「私の歌創りは…」佐藤さん

たお兄さんの心情、気持ちが高ぶっているからここの音形になっていると読みとりながら自分の歌に持っています。歌は原語から歌詞を読みとり、自分の中でドラマを創り上げていきます。例えば、自分の愛する人がいなくなってしまうという歌詞なら、それは別れてしまったのか、亡くなったのか、想像力を働かせて心情を曲に練りこんで創っています。



声楽家 佐藤美枝子さんに聞く

今月のとほめインタビュー

三輪 佐藤さんのコンサートは何回も聴かせてもらっていますが、毎回、「すばらしい」の一言です。お会いしたらお聞きしたいことは一つ、「どうして一つひとつの歌があなたにドラマチックに歌えるのでしょうか」、これに尽きるのですが、



▲「私の歌創りは…」佐藤さん

5月7・14日合併号

- ☑ ゴーむ・あつぽ 合唱指揮者 岩本達明さん ☑ 東日本合唱講習会案内 3面
- ◆ フェスティバル2001案内 4面 ☑ 若者の発想で拓く! 青年のページ 5面
- ☑ 連載 「われらニヤガの合唱ニヤン」(古沢望) ☑ ミュージック・トゥデイ(和田静香)
- ☑ 「試聴室」 ☑ 芸能マンズリー(伊藤強) ☑ 映画缶 ☑ 「空を見ますか」(池辺晋一郎)
- ◆ 和太鼓らいぶ ☑ 林英哲「千の海響」 9面 ☑ 楽譜紹介 「ジャスミンの花」 10面
- ☑ 紫金草合唱団200人南京公演 11面 ☑ ルポ「沖縄に吹く風」 12面

※次号5月21日号の本局発送は5月11日です

自民党の新総裁として首相に小泉純一郎氏が選ばれた(国民が選んだわけではなく)。時代錯誤の「神の国」発言や「教育勅諭」を持ち出す森首相には怒りを越してあきれたが、失言続きの森首相よりこの人にと、自民党内も期待をかけた。しかし、初会見ですでに示された超タカ派ぶり。

☆ ☆ ☆

音楽に造詣深く、音楽議員連盟のメンバー、一見、幅広さや、実行派のイメージを出しているが、郵政民営化を前から主張していた人。初会見でも「いつの時点までできるかを検討する」と明言。「靖国神社への公式参拝は当然」、憲法第9条は「将来的に改正すべきだ」と思っている。

☆ ☆ ☆

『憲法改正』の理由は、「自衛隊が軍隊でないという部分は自然だ。…解釈によっては自衛隊が憲法違反だと取れるようなものは、おかしい」と、憲法と自衛隊の矛盾をわかっていて、変えるのは自衛隊ではなく、憲法だと言った。

☆ ☆ ☆

稚拙な森首相の発言よりストレートに、平和憲法として世界に誇る日本国憲法を変えようと主張する小泉氏。昨今問題になった「新しい歴史教科書をつくる会」の中学・歴史、公民の教科書がまさにこれを意図して作られたというところを重ね合わせる。もう自民党政府では、人権、平和、アジアとの友好は難しい、と思わざるを得ない。(純)